

地域づくりにおける市町村の役割 ～市民が主役の協議体～

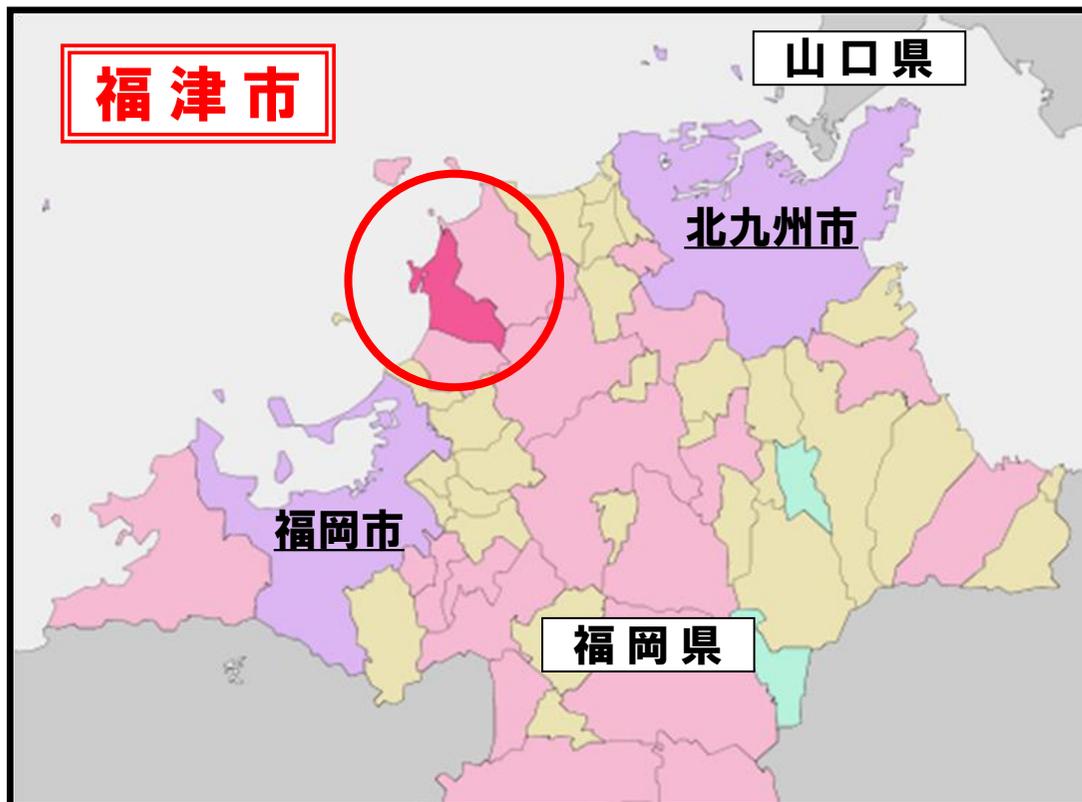
平成29年6月23日（金）

第1回九州厚生局地域包括ケア市町村セミナー
福岡県福津市健康福祉部高齢者サービス課



福岡県 福津市

(平成29年5月末現在)



◆平成17(2004)年1月
福間町と津屋崎町が合併

◆面積 52.71 km²

◆人口 62,429 人

◆15未満人口 9,474人
(15.2%)

◆65歳以上人口 17,364人
(27.8%)

◆75歳以上人口 8,283人
(13.3%)

◆要介護認定者数 2,419人
(14.0%)

◆介護保険料 5,250円

市役所の体制 高齢者サービス課(13名)

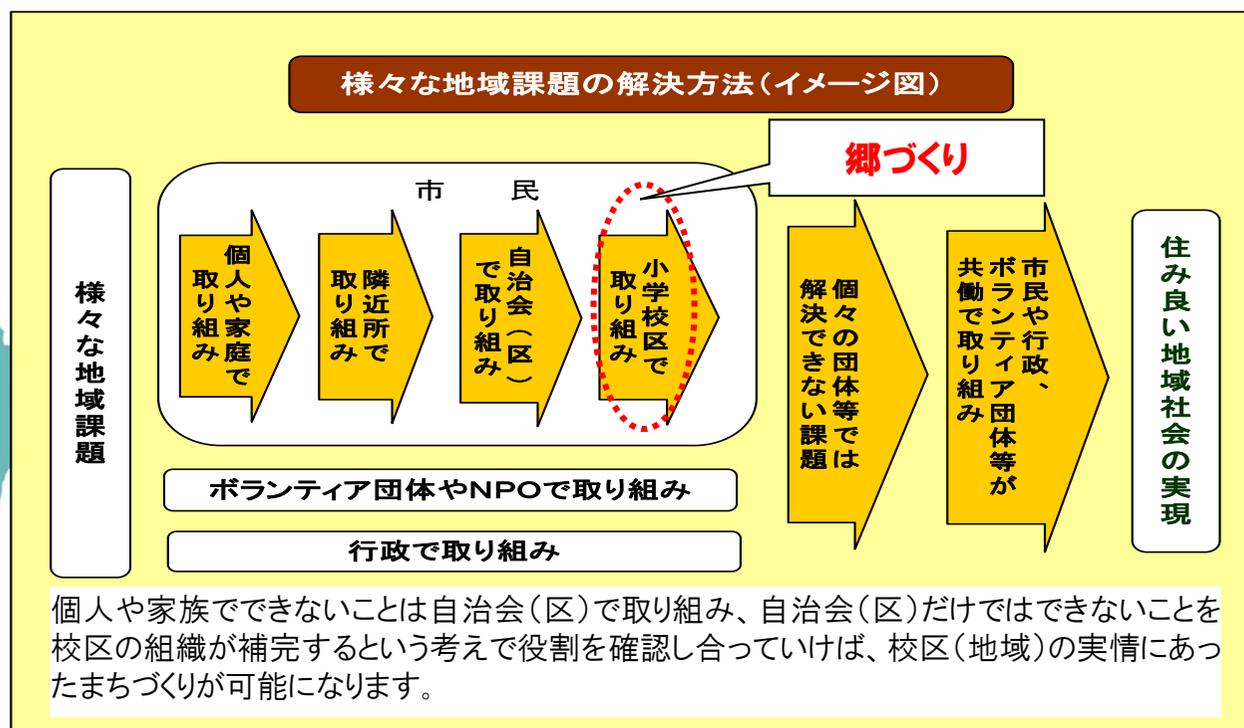
介護保険係(7名)・・・認定、賦課、給付、地域密着型など
高齢者福祉係(6名)・・・介護予防、認知症、生活支援体制
整備事業など

地域包括支援センターの体制 委託型市内1か所(17名)

センター長 保健師等(3名) ケアマネジャー(6名)
主任ケアマネ(3名) 事務職(1名)
社会福祉士(3名)

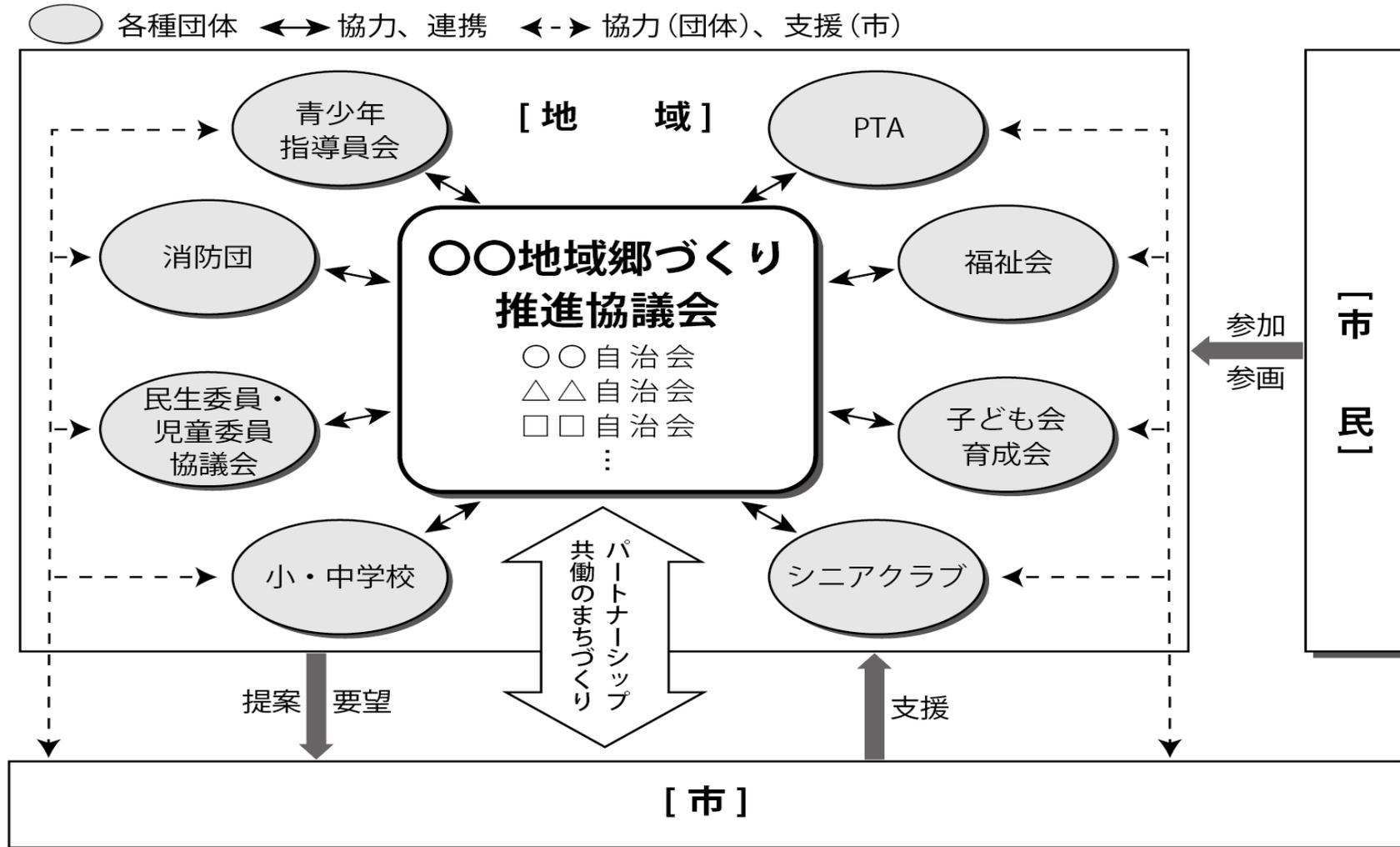
郷（さと）づくりとは

郷づくりは、福津市が平成19年度から取り組み始めた「自分たちの地域は、自分たちの手で」という考えのもと、概ね小学校区を単位として、地域住民や地域で活動する団体同士が互いに協力・連携し、地域の課題解決や個性的で魅力ある地域づくりに取り組む「地域自治」の活動です。



郷づくり推進協議会は、自治会活動を補完する組織です。

■郷づくり推進協議会イメージ図





1.協議体準備会までの取り組み

フォーラム開催と参加

- ◆ 『**福津市における地域支援事業勉強会**』 平成27年5月26日(火)
市職員/議会/郷づくり推進協議会/社協/包括/シルバー人材センター
- ◆ 『**生活支援・介護予防の体制整備に向けた研修会**』 6月11日(木)
～**目指す地域像の実現に向けた、第1層協議体のあり方を考える**～
市職員/包括/社協/第1層協議体構成員候補者
- ◆ 大分県竹田市「**新しい地域支援のあり方を考えるフォーラムin竹田**」
行政/社協/郷づくり推進協議会 7月18日(土)
- ◆ 佐賀県佐賀市「**はじめよう！佐賀市発・新しい総合事業に向けて**」
行政/社協/郷づくり推進協議会 7月27日(月)
- ◆ 『**介護保険制度改正と新しい地域支援事業学習会in 福津**』 8月30日(日)
行政/議会/郷づくり推進協議会/民生・児童委員/社協/包括/
シルバー人材センター

フォーラムで情報を得た市民が動き出す

- 平成27年5月26日 『福津市における地域支援事業勉強会』
平成27年6月11日 『生活支援・介護予防の体制整備に向けた研修会』
平成27年7月18日 『新しい地域支援のあり方を考えるフォーラム
in竹田』

暮らしのサポートセンター りんどう見学

平成27年7月～ **地域の自治会へ働きかけ**

平成27年12月 **もと保養所の所有会社と活用について合意**

平成28年3月27日 **自治会総会にて可決**

平成28年4月6日 **準備委員会結成、以後、毎週委員会で協議**

平成28年6月 **もと保養所の所有会社と賃貸契約締結**

平成28年7月19日 暮らしのサポートセンターサンクス開所！

暮らしのサポートセンター サンクス

寄り合い場

集いの広場

お困りごとと支援



■開館日 火、木、土曜日 ■時間 10:00~17:00
★上記以外の日時でもOKです。清水までご連絡ください。
暮らしのサポートセンター連絡先 ☎ * * * - * * * - * * *



2.協議体準備会

協議体設置までのあゆみ

協議体準備会 プログラム

- 第1回(平成27年12月18日)
高齢者福祉計画、介護保険事業計画の説明
- 第2回(平成28年1月20日)
「助け、助けられ上手になるためのゲーム」
- 第3回(平成28年2月24日)
「地域のつながりを考えよう」
- 第4回(平成28年3月23日)
「第3回の『困りごと』について考えよう」
- 第5回(平成28年4月27日)
「これからの協議体設置についてみんなで考えよう」
- 第6回(平成28年5月25日)
「もしも福津市に協議体があったら」
- 第7回(平成28年7月27日)
「生活支援コーディネーターはどんな人が適任？」
- 第8回(平成28年8月24日)
「協議体と生活支援コーディネーターに関する質問と意見交換」
- 第9回(平成28年9月28日)
「生活支援コーディネーターを選ぼう」
- 平成28年10月26日 福津市協議体誕生！**

参加よびかけ先

- 郷づくり推進協議会
- 民生委員・児童委員協議会
- 地域包括支援センター
- 小地域福祉会
- シニアクラブ
- シルバー人材センター
- 社会福祉協議会
- 社会福祉法人
- 介護保険サービス事業所
- 光陵高校
- 水産高校
- 宗像看護専門学校
- 認知症セーフティネットワーク蓮華草
- 見守り協定締結事業所
- イオンモール福津
- 消防団
- 警察 ほか

- 第1回(平成27年12月18日)

第7期高齢者福祉計画、第6期介護保険事業計画の説明



その他、沖縄県八重山郡竹富町で
取り組まれている地域の集いの場
「大富共同組合売店」について発表、
グループワークがありました。

歩いて行けば、誰かに会える。誰かに
会って、話すことは大事だと思う。そ
ういう場を作ることも必要だと思う。
(20代女性)

無償ボランティア、行政からの押し付
けは反対。話しあいをして時間をかけ
て。お互い様がなくなっている。
(70代女性)

予想以上の
122名の参加！

- 第2回(平成28年1月20日)
「助け、助けられ上手になるためのゲーム」
- 第3回(平成28年2月24日)
「地域のつながりを考えよう」
- 第4回(平成28年3月23日)
「第3回の『困りごと』について考えよう」

グループで具体的に困りごとについてやりとりできてよかった。
(アンケートより。以下同じ)

時間が短かったのでは・・・
グループでもっと話がしたかった。



- 第5回(平成28年4月27日)

「これからの協議体設置についてみんなで考えよう」

- 第6回(平成28年5月25日)

「もしも福津市に協議体があったら」

- 第7回(平成28年7月27日)

「生活支援コーディネーターはどんな人が適任？」

前回までは繰り返しが多く、方向性が見えなかったが、本日は一歩進んで具体的な話し合いができたと思う。



- 第8回(平成28年8月24日)

「協議体と生活支援コーディネーターに関する質問と
意見交換」

- 第9回(平成28年9月28日)

「生活支援コーディネーターを選ぼう」

市民評価委員…35名

※市民評価委員候補者(9月23日までに
「協議体参加届」を提出された方) 55名中
35名が参加



どんな人が生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)

- ・ [] さん(神輿)と子どもの見守り
- ・ [] 夫妻: 人脈がある
- ・ 40 [] さん: 可動している
- ・ 60年代以上の元気な人、時間に余裕がある
- ・ 女性の方が話しやすいかも
- ・ 男性だと仕事で頼りになる
- ・ 30~60年代
- ・ 休年退職後の人
- ・ 地域に生まれ育った人
- ・ 市のOB、校長先生のOB (話の上手)
- ・ 病院の先生、NS
- ・ 地域で奮闘しようとしている人
- ・ 世話好き
- ・ 病院の連携室を退職した人
- ・ 介助の知識がある人
- ・ 夢: 満ちあふれる行政の人
- ・ 地域の状況を把握している人
- ・ ボランティア精神がある人
- ・ 地域 行政の動きを知っている人
- ・ のびのびとした育成をしようとしている人
- ・ 今の地域がどうにかしたい人
- ・ 市のOB 信頼情報
- ・ 人の話か聞ける人
- ・ 活動的の人
- ・ フォローの軽い人

だったら助け合いの地域づくりが進みそうですか?

- ・ 自分の時間をわけて人のために何かしたい人
- ・ 運転免許をもっている人
- ・ 意欲、熱意がある人
- ・ コミュニケーションに力を入れている人
- ・ 企業のノウハウがある人、OB
- ・ 子育て 福祉の知識がある人
- ・ 組織に属している (民委、自治会、消防団)
- ・ 若年層 30~40年代
- ・ 平等な考え (嫌いな人の良いところが見つけられる)
- ・ 何事にも積極的の人
- ・ 困難をわらわらと乗り越えられる人
- ・ 70年代に力を入れている人
- ・ 50~60年代の元気
- ・ 記憶力がある人 (記憶大切)
- ・ 社会系
- ・ 介助経験のある人
- ・ 包括
- ・ やさしくて積極的の人
- ・ 子どもから高齢者までの気持ちがわかる人
- ・ 人の話信頼できる人
- ・ 地域社会に理解がある人
- ・ 比較的活動的の人
- ・ 母親...生活がわかる
- ・ パソコン技術
- ・ 公博
- ・ 専念できる人
- ・ この活動が楽しい人
- ・ いかに汗がかけられる人

ワークショップの意見からSC評価項目へ

第7回協議体準備会「「どんな人がSCだったら助け合 いの地域づくりが進みそうですか？」	評価項目(一部抜粋)
<ul style="list-style-type: none"> ・世話好き ・ボランティア精神がある人 ・今から地域のために何かしたい人 ・意欲、熱意のある人 ・人間が好きな人 ・自分の時間を使って人のために何かしたい人 	<p>地域貢献への意欲が感じられるか</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・個人名(名前があがるほどの地域での活動実績) ・もともと活動していた人 ・地域の状況を理解している人 ・地域社会に理解がある人 ・顔が知られていてネットワークがある人 	<p>地域において、実効ある助け合いや生活支援等サービスの提供実績を有しているか</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・人として信頼できる人 ・課題が見つけれられる人 ・地域の状況を理解している人 ・いっしょに汗がかけれる人 	<p>今後の地域の支え合いに関して、共感できる内容が示されているか</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・平等な考えの人 	<p>所属する団体の利益によることなく、公平・中立な立場で活動が行われるための工夫がなされているか</p>



3.協議体になってから



協議体のいま

○協議体メンバー 77名 (H28.10.26現在)
↓
124名 (H29.6.12現在)

☆郷づくり推進協議会、自治会、小地域福祉会、
民生・児童委員、ボランティア団体、介護事業所、
障がい事業所、企業、個人 etc.・・・

多種多様な方々が参加

参加届を出せば
どなたでもOK!

- 第1回(平成28年10月26日) **協議体スタート!**
厚生労働省主査寺崎讓氏講話
「市民主体で協議体の活動に取り組む意義」



厚労省の方の協議体の説明がわかりやすかった。

生活支援コーディネーターの意気込みが聞けてよかった。

「生活支援コーディネーターと今後の活動について考えよう」

- 第2回(平成28年11月30日)
「地域の宝を自慢しよう」グループワーク
『若木台語ろう会』についての発表



他の地域の良いところを聞くことで、これからの参考になり、いろいろな取り組みができそう。

地区ごとの情報共有、どんな取り組みをしているのか話し合うことができてよかった。

- 第3回(平成28年12月20日)
新宮町新宮区の買い物支援ボランティアについての発表
「地域の宝を自慢しよう」エリア別発表スタート

- 第4回(平成29年1月25日)～第7回(平成29年4月26日)
「地域の宝を自慢しよう」 エリア別発表



みんなが主役のような活動がすばらしいと思う。

地域の伝統行事を継続することで人と人との交流が深まり良いことだと思いました。

「活動を楽しむ」という挨拶に同感、「続けることが大切」にも同感。

協議体に参加した理由が、それぞれ熱い。今日話された内容を地域の方々に話したい。

地域のことは地域で考えるという機運を高める、地域の人ならではのつながりに感動しました。

同じ町に住んでいながら、知らないことばかりだった。

発表を聞いた他エリアのメンバーの声

福津市ささえあい 協議体 × 通信

■発行・編集：福津市生活支援コーディネーター
■発行：毎月
■作成：後田

第1号 平成29年1月25日



～1月26日集まりの～
第1回福津市協議体

皆さん、こんにちは！ 地域のささえあいのための協議体が、平成28年10月26日に発足し、3ヶ月が過ぎました。

発足式では、福津市長を始め厚生労働省の寺崎さんなど、沢山の方々にお集まり頂きました。2回目は若木台の潮さんによる地区での取り組みの発表に始まり、3回目は勝浦地区の事例発表、近隣の新宮町の異物支援送迎についての発表がありました。

今後も各々が住む地区の取り組みについての発表を行い、「それらを参考にしつつ自分の地区ではどのようなことが実施できるだろうか」、「そのための課題点は何であるか」といった所を、協議体のみんなで話し合い、解決していきます。それを続けていくことで、みんなの力で「住みやすく、住みたい地域」をつくり上げていくことになると思います。

ささえあいのための協議体は、そこを目指しています。



(若木台)

思いのこもった熱いお話が印象的でした。



(勝浦地区)

軽妙な掛け合いが場の雰囲気を和ませてくれました。

東福間公民館にて リズム体操の写真



「君たち、どんなことやってるの？」と、小川さんがサングスに来てくれました。お話を伺うと「僕は公民館で転倒防止のダンスを、近くの人に教えてるよ」とのお話が。見えないうちで頑張っている方がいるんですね！

芸楽台の語ろう会

毎月1回の語ろう会が既に200回(！)を超えているそうです。お年寄り1人に対してサポーターが1人付いて、マンツーマンの語ろう会。皆さん、楽しみにしておられます！多世代の交流を積極的に行って、小さな子どもから沢山の笑顔をもらっています。

(↓グランベルカルテットの皆さん カルテットなのに5人？)



色々な地区を回ると「こんなにも沢山の人が福祉活動を担っているのだ」と、安心感や頼もしさを感じると共に大変驚かされます。時にはむなしさやさびしさを覚えたりしながらも、地域の状況やそこに置かれる方々と真実に向き合い活動が続けているのは、我々自身が誰かの役に立っているという所がやりがいや生きがいとなっていることに気づいているからだと思います。

協議体の皆様の悩み事、相談事を共有し、その解決をしていくことで人の輪が広がっていくようになると思います。

より住みやすい地域を、みんなで作っていきましょう！

今後のスケジュール

第5回 協議体	2月22日(水)	宮司コミュニティセンター	18:00～19:30
第6回 協議体	3月29日(水)	宮司コミュニティセンター	18:00～19:30

問い合わせ先 .. 御座います

- 市役所窓口 高齢者サービス課(中村、牛島)：0940-43-8298
- 生活支援コーディネーター 問い合わせ先
地区での取り組みに関するご相談、ご質問

協議体通信 第1号

福津市ささえあい 協議体 × 通信

●発行・編集：福津市生活支援コーディネーター
●清水・則武
●作成：福田

おたがいサマーズ (第5号 平成29年5月4日)



早いもので桜の見頃お終ひ、日差しは強くなると、さわやかな風が初夏を感じる季節となりました。入学直後は、お母さんに手を引かれて小学校まで通っていた子ども、今は上級生と進級立ち、元気よく「行ってきます」と笑みながら登校するようになりました。宮司地区の子ども見守り隊も、結成して5年目を迎えています。当時が幼少だった子どもたちがも立派に成長し、先週の土曜日には、中学校の体育祭にてその姿を見せて頂きました。「子どもたちの安全のために始めた活動だったものが、今は道に、日々成長する子どもたちから自分たちの方が活力をもらっています。その成長へ貢献しているという所に感じる生きがい、活動の原動力になっていると考えています。

先だって新たに結成しました、地域内外の生活支援隊である「おたがいサマーズ」も、その原動力「支え、支えられ」の精神です。「誰かのために」の活動は、遊んで、自分たちが生きがいを作っているということなのだと思います。お役所への支援は、そのまま活動されている方々の元気の原動力となります。ご賛同お待ちしております。

協議体は今後、「地域の課題」の解決方法を考えようと思っています。「地域の課題」とは、具体的な一つ一つの課題点、困り事や悩み事、「こんなことをしたい」、「あんなことをやりたい」といった意見、希望の結果です。みんなで話し合い、助け合いながら、いつまでも楽しく穏やかに過ごせる住みやすい地域をつくっていきましょう。



5/18 (木) <つづり推進協議会福祉分野の情報交換会>

各福祉分野から福祉関係の方々に出席して頂き、サロン活動、小地域福祉会活動等の情報を、発表して頂きました。今回で2回目となります。協議体の内容説明や、参加促進をしました。

第7回協議体

平成29年4月26日(水)、第7回協議体が開催されました。第3回協議体(昨年12月開催)から「地域の宝を自慢しよう」が始まり、今回の上西郷・神興エリアの発表で、各エリアの発表が終了しました。

■ 上西郷エリア

・ほっとするまちハンドメイドは活動「福津市産物町会祭り」

平成25年から実施、今年は5周年

・上西郷小学校児童とのふれあい「敬老給食」

【目的】上西郷小学校の児童と高齢者が食事や会話をし、子どもたちから元気をもつ機会。

・若狭サロン

毎月第4金曜日14:00~16:00開催、会費300円

誰でも参加可。和気あふれ、ゆたかな雰囲気。

若狭先生が健康相談実施



■ 神興エリア

・買い物支援(元スーパーの協力を得て、あみずの里市が移動販売)

・イベント取組(竹灯祭り・さくら祭り)

・つづりサロン(出張演奏会実施)

「人生いろいろ」の唱歌合唱(地域いろいろ、活動いろいろ)

■ 参加者の意見

本協議体第1回が参加している、視覚障がいの方からの意見。「移動手段、設備等が少なく自由に出外しにくい過去に住んでいた地域、市役所からの情報は、表紙に点字で市章印刷、市からの郵便物とすぐ分かった。」等のお話があり、あみずの里で「共生社会」の原点を教示され、参加者全員、心に残りました。

今後のスケジュール

協議体 第9回	6月28日(水)
ふくとぴあ	18:00~19:30
協議体 第10回	7月26日(水)
ふくとぴあ	18:00~19:30



朝は見守り隊、昼はつづりサマーズ、夜は同じメンバーです！
(繰り返しです！)

問い合わせ 仲浴先

●市役所窓口 高齢者サービス課(中村、牛島)：0940-43-8298

●生活支援コーディネーター

地区での取り組みに関する

協議体通信 第5号



◆『協議体準備会』『協議体』で大切にしてきたこと

◎参加していただいた方の声を十分に反映できる場にしよう

⇒ 毎回、協議体メンバーに「良かったこと」「改善が必要なこと」を聞いて、取り組めることはすぐに実行する。

◎話し合いを始める前から、「落としどころ」は決めない

⇒ 次に何をするか、どのように進めるかは協議体メンバーの意見を聞いて決める。

◎参加は、自由意思に基づいて

⇒ あて職での参加は求めない。「住みやすい福津市を作りたい。助け合いのある福津市を作りたい」という熱意のある人に参加してもらえるようにする。



協議体の今後について

- 第8回(平成29年5月24日)には『協議体効果発表会』ということでこの半年間を振り返り、協議体が出来たことでどんな効果があったのかグループワークを行い、今後の活動について考えました。

今後も、『市民が主役』ということを見失わず、協議体のメンバーと一緒に住みよい地域を目指していきたいと思っています。

ありがとうございました。